

# 県連メールニュース

東日本大震災

# 支援報告会に200人



23 山梨 山梨 2011年(平成23年)3月18日(金) 毎日新

## 「必ず復興させよう」 支援を呼びかけ

甲府で医師ら 被災地報告

津波で薬流され燃料不足

山梨県民医連事務局

## 家族失い 自殺を図る患者

宮城支援医師ら 被災地の惨状伝える

東日本大震災で被災し、被災地支援にあつた 訪問の医師らから、被災地の惨状が伝えられた。被災地の惨状が伝えられた。被災地の惨状が伝えられた。

25 山梨 山梨 2011年(平成23年)3月18日(金) 毎日新

## 被災地の惨状生々しく

活動継続を呼びかけ

県個人支援受け付け

山梨県民医連事務局

## 県、救援物資受け付け開始

被災地支援に協力

山梨県民医連事務局

今後の予定

第3陣 3月21日～25日(26日未明帰着)

第4陣 3月25日～29日(30日未明帰着)

## 結束して敢然と立ち向かおう

17日午後、勤医協駅前ビル大会議室で支援団第1陣による報告会がひらかれました。会場後ろまで立ち見で埋まり、入りきれない参加者がエレベーターホールまであふれました。支援に参加した4人は被災地の様子や奮闘を続ける坂総合病院の職員と全国から駆けつけた民医連の仲間の姿を報告しました。「家族を失い自殺を図る患者さんもいる」「薬も食料もすべて流され治療薬を失った慢性患者さんも多い」「ガソリンが無いからといって病院に来ることすらできない患者さんもたくさんいる。こうした現実を知ってほしい」など、被災者のつらい状況や民医連の仲間にも犠牲者が出ていることなどに話が及ぶと涙を流しながら聞き入る姿も見られました。4人は、つらい現実を目をそらさず「敢然と立ち向かおう」と支援の継続を訴えました。最後に挨拶に立った甲府共立病院の大畑院長は、坂総合病院の頑張り、全国の支援、その中にこの4人がいたことを誇りに思うと述べ、誰もが他人事ではなく自分のこととして考えている、復興は必ずできる、今後もその中心となって頑張ろう、と結束を訴えました。

## 第2陣、坂総合病院に到着

第2陣は昨晚7時に坂総合病院に到着。今朝、上原さんよりメールが届きましたので紹介します。

おはようございます。健診の上原です。ゆうべは寒い夜でした。4度ほど体に感じる少し大きめの揺れもありました。昨日は雪や雪崩の影響で到着が遅れ、今日から活動に入ります。昨日の説明では、これまでに320名ほどの民医連の仲間が支援に駆けつけているそうです。病院に来る患者さんは外傷や重症の患者さんは減り、比較的軽症の方が多くなっているようです。脱水や栄養失調の方や、発熱の方も増えてきているようで、インフルエンザなどの感染症の方も出ているそうです。病院では、来週から通常の外来診療を再開することを目指しているそうですので、今後支援に入るメンバーにはそのあたりをお願いするかもしれないとのことでした。添付は寝泊まりの場としてお借りしているクリニックの8階から見た付近の様子です。真でははっきりしませんが、通ってきた国道にも津波で流された車などが山積みとなっていて、すぐそばまで津波が迫っていたことが分かります。

